

# 県民の友

9  
昭和62年  
8月号

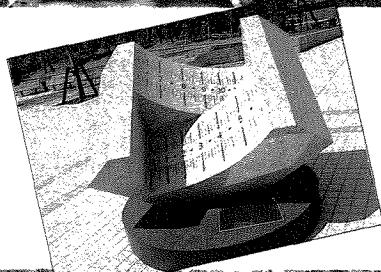
発行/和歌山県 知事公室 広報企画課 TEL640 和歌山市小松原通1の1 ☎0734(32)4111 No.598

## 緑のカーテン

“かんしょう緑地”ちょっと耳慣れない言葉ですが、これは工業地域と住居地域を緑地帯で分離し、豊かな緑の効用を生かし、空気の浄化、防音、緊急時の避難地となるほかスポーツ・レクリエーションの場と地域と企業とのコミュニケーションづくりに役立てようというものです。

7月10日、和歌山市湊と松江に合計約7haの緑地がオープンしました。子供広場、ソフトボール場、芝生広場、テニスコート、ゲートボール場などがあり、子供から老人まで家族そろって楽しめる緑地となっています。申し込みなどくわしくは3面で。

## 河西緩衝緑地オープン



# マリーナシティ計画、原発立地、 大瀧ダム事業計画の変更等について活発な論議を展開

六月定例会は、六月二十三日から七月九日までの七日間にわたって開かれ、当局提案の条例案十件、人事案件八件、その他議案四件、知事専決処分報告一件が、いずれも原案のとおり可決、同意及び承認されました。

なお、「水力発電施設周辺地域交付金の交付期間の延長」、並びに、「農畜産物の輸入自由化、枠拡大阻止」の意見書が議決され、それぞれ関係機関に送付されました。

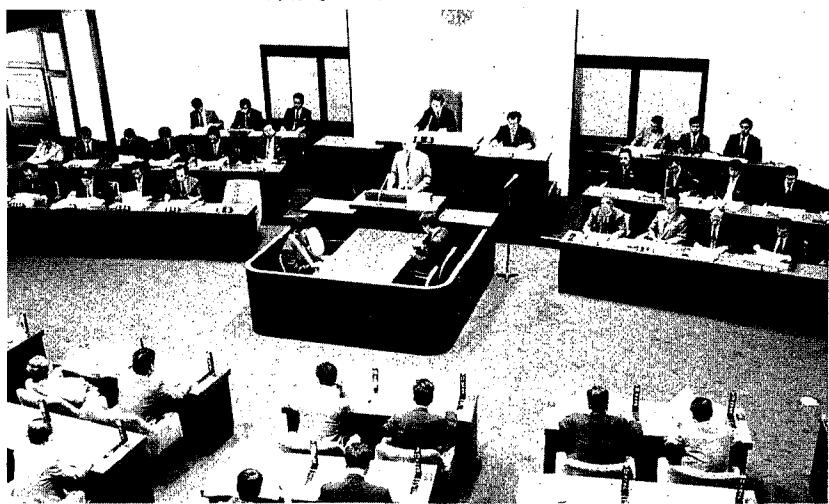
また、県議会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき議員の数について調査検討を行うために、「議員定数等検討委員会」が設置されました。(委員十二名)

なお、本会議には、十五人の議員が質問に立ち、仮谷知事の今後の県政に立ち向かう政治姿勢、和歌山マリーナシティ計画、紀南の浮揚、原子力発電立地、第二阪和国道の早期延伸、紀勢自動車道、京奈和自動車道の建設促進のための体制整備、紀の川大堰建設、大瀧ダム事業計画の変更、医大の統合移転、道路整備、教育、医療、同和行政、雇用、農林水産業の諸問題等県政全般にわたって活発な論議が交わされました。このうち、和歌山マリーナシティ計画及び紀南の浮揚については次のとおりです。

にこたえるために全力をあげていきたい。

和歌山マリーナシティ計画の概要及びその進め方はどうか

リゾートに非常に関心を持つてゐる松下興産の関根社長に対して開発を要請していたところ、和歌山への進出を決定していただいた。関根社長も「社運をかけて進出す」と申しているので、その決意は、



県民の友

リゾート計画は、リゾート法成立の問題、民間活力の問題として取り上げられている時期でもあり、日本初の複合的な海洋都市づくりのプロジェクトとして、全国的に素晴らしいものを作りたいと考えている。しかし、これには、

県民の皆さんのが支持が必要で、関係する漁業者のが理解、関連道路等についての地権者の協力、さらには和歌山市はじめ関係機関のご支援を得て、和歌山県が誇れる素晴らしいリゾート基地を作つていただきたい。

事業計画としては、国際化時代、余暇時代に対応して都市近郊に残る」と申しているので、その決意は、

された素晴らしい自然を持つ和歌浦毛見地区に都市近郊型海洋レクリエーション施設を開発するもので、利用水面を含む開発面積は、六十九ヘクタールで、うち約五十八ヘクタールを前島方式で埋め立てる計画である。これは、周辺地域をも含めた地域開発の発想に立ち、関西国際空港に照準を合わせたプロジェクトと考えている。

**紀南の浮揚について  
どう取り組もうとするのか**

県勢の活性化と県土の均衡ある発展は、県政の基本方針である。紀南地方には、海洋、森林、温泉などの優れた自然、また、熊野三山などの森林、山岳と一体となつた全国に誇れる歴史と文化を有しており、加えて温暖な気候に恵まれ、それらに育くまれた海洋文化、山村文化、心豊かな人情がある。これから心の時代、ゆとりと心の豊かさを求める流れの中で、人々の保健、休養、文化研究の場、人間回復の地として全国でも貴重な存在であると信じている。

このため、この度の県第四次長期総合計画においても、

(一)田辺市を中心とした国際文化リゾート基地



暑中お見舞い申し上げます

和歌山県議会(議員名簿順)

副議長

中浜和堀浜町大木古小松西阪平門中中宗尾森下木那田部上平山石藤橋山中尾村井浦鈴渡森中貴岡和宇岸薫治  
村口田本本田江下田林本本部越 村西 崎 川下須中矢山木本田沢本崎村崎岡出 木辺本村志本田本科  
利矩正隆 康秀新史貞長菊孝三隆雄正要利俊義秀実忠親繁 真弘 幹 吉キ益武俊 明千八 正栄光義  
男一一男坂亘弘男藏郎次浩雄哉博行幸彦二樹夫雄主実一敏郎進雄弘子弘雄男勲雄晴郎保人藏造清

各議員よりのごあいさつは自粛させていただきます。

(2)新宮市を中心とした熊野文化リゾート基地  
の構想を掲げ、地域固有の文化をもとにその整備の方向を考えている。

具体的な施策としては、紀勢自動車道の早期実現、南紀白浜空港のジェット化、地方港湾の充実、国道、県道の整備促進を図るとともに、良好な環境の中に、スポーツ施設、レジャー施設、保養施設、研究施設等を海に山に誘導立地したりわけ、南紀白浜空港のジェット化整備の中で、道路建設を初め、リゾート地にバイオや新素材等先端技術の研究施設を整備するなど、地場産業の振興をも図っていきた。

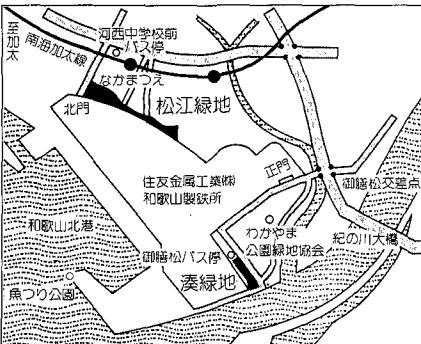
## 暑中お見舞い申し上げます

和歌山県知事  
仮谷志良

和歌山北港  
魚つり公園  
和歌山市駅から御膳松行き18分終点下車。  
前下車南へ500m。  
和歌山バス南海和歌山市駅から松江緑地  
経由坂田行き20分「河西中学校」  
前下車南へ500m。

県議会に請願書を出される方へ
毎定例会における請願書の受理期限は、従来、定例会開会日の三日前とされておりましたが、次回より、定例会の一般質問の初日の三日前までと改められました。
なお、陳情については、特に時期的な制限がありません。
詳しくは、議会事務局議事課へお問い合わせください。
(0734)32-4111

## 県民の友



**スポーツにハイキングに  
大いにご利用ください。河西緩衝緑地。**

松江には夜間照明付きのテニスコートもあります。

同和連載

## ぼくの左手

川辺町 和佐小五年今井律

ぼくは、保育園にいっていたころに手をなくした。

なくした原因は、母についていて手伝いをした。ぼくは、ミンチの機械に肉を入れた。そのとき、肉が機械につまつて動かなくなりぼくは、おしこんだ。するとグライングインと機械が動き出して手がグイグイとひきこまれていった。

手がしばられるようにぐるぐる回つてぼくの手はなくなつた。そ

のときぼくは、ないた。

でもないといられるのは、はじめだけ。手がぞうきんのようにグルグルにねじられていくのでなかつた。声が出なかつた。

お母さんは、やつと気付いてス

イッチをとめて病院に電話をして急いで病院に行つた。機械が手に付いたままだつた。病院で機械を

わつたときわつたあとが今も付いている。保育園きく組のときだつた。ぼくは、それから入院した。

いぶして退院して保育園を卒園、そして学校に入学した。それから三年たつた。

ぼくは、休み時間に運動場に出

た。すると上級生の○○君がそばに来て「手なしくん」「手なし君」と言った。ぼくは、腹が立つてなってきた。そして、先生に言うと久保先生が来て○○君と話をした。

それでも○○君は、まだ言いに来た。でもぼくは、気にせずに

で も今は今でも言われるとかない時がある。友達の誠君や仁大君は大きくなるにつれてそんなに気にしなくなつた。

でも今でも言われるとかない時がある。友達の誠君や仁大君は大きくなるにつれてうれしい。寒くなつてくると切れてなくなつた所がズキズキ痛む。

手がなくてもがんばるぞ。

### 利用のごあんない

- 入園料は無料です。
- 開園時間・休園日等の制限はありません。
- いつでもご利用できます。(ただし、有料施設を除く)
- 有料施設について

#### (1)料金表

施設名		使用できる時間	区分	使用料	
湊緑地	ソフトボール場 (専用使用のとき)	午前9時 から	3時間	900円	
	テニスコート		超過1時間につき 1面1時間	300円 400円	
	多目的運動広場 (専用使用のとき)	午後5時 まで	3時間	900円	
	テニスコート (夜間照明つき)		超過1時間につき 1面1時間	300円 400円	
松江緑地				1面4時間 (午後5時~午後9時)	
				3,000円	

#### (2)休場日

- 毎週月曜日(月曜日が祝日・振り替え休日のときは、火曜日)
- 祝日の翌日(土曜・日曜のときは、開きます)
- 年末年始(12月28日~1月4日)



財団法人わかやま公園緑地協会

〒640 和歌山市湊3丁目3-15 湊会館1階

(0734) 51-8355

# ふれ愛 紀州路



池本さん

## オープニングエステイバル

9月1日 和歌山市民会館

池本 塚内のJRや南海電鉄の駅長さん、それに地元の方々出演の観光自慢、とってもおもしろそう。私たちも初めての大舞台、今からドキドキするね。

高畠 そうそう、第2部の竜童組のコンサート、私はこつちもドキドキしそう。

稻田 おまけに無料、もう最高!

池本 でも、往復ハガキで8月15日までに申し込むようになつてから、お友だちに早く知らせてあげなくちゃ。

## ツール・ド・ジャパン'87

9月6日

### 白浜ステージ

西山 5日の前夜祭も楽しそうね。でも6日は朝7時30分のスタートだから、あまりはしやぎすぎると大変よ。

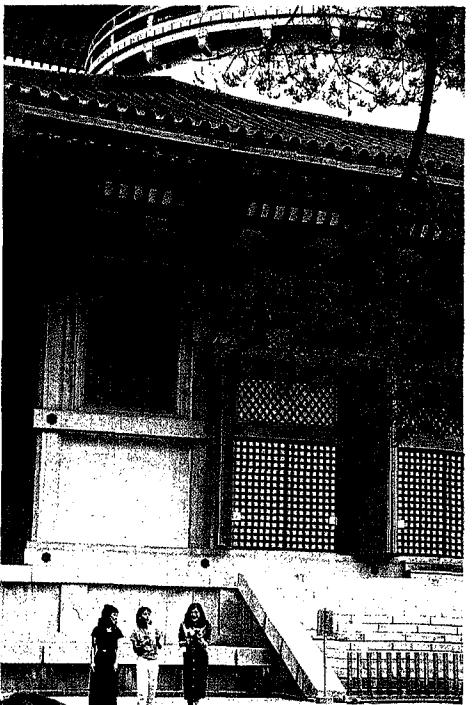
稻田 きれいな海の見える一周8・35キロのコース、中学生からスープーチャンピオンまでスペインの招待選手も含め、全国各地から千人以上が参加するレースなの、スッゴイよ!

高畠 世界的に有名なツール・ド・フランスの日本版ね。昭和59年に始まつたそうよ。

稻田 今年の1・2戦が所沢・藏王、の白浜が第3戦。たくさん応援に来て下さいですね。選手もハッスルするでし



西山さん



## ワダエミーイメージのマンダラ輝く姫

9月19日 高野山



吉川さん

吉川 ワダさんは、黒沢明監督の映画「乱」で去年のアカデミー賞衣装部門賞を受賞された方で、演劇や映画の衣装デザイナーとして有名ですね。

西山 そのワダさんが密教の宇宙感や、そのシンボルのマンダラをテーマに衣装をデザインしショーカーをするなんて、なんだかワクワクするわね。

米田 夜7時からのショードからファンタジックでしようね。根本大塔と経(きょう)の響き、神秘的だわね。

池本 それに、モデルがあの山口小夜子さん。これは絶対見逃せないよね。絶対!



ふれ愛紀州路観光キャンペーン  
ハマリ申セキ

ふれ愛紀州路観光キャンペーン



稻田さん





7 昭和62年8月1日

# 催し

県民文化会館 (0734)36-1331

第15回和歌山県出身新人演奏会

8月16日 午後1時 大ホール 無料

県立近代美術館 (0734)36-1331

館蔵作品展IV 戦前の作品を中心として

特別陳列「創作版画」8月20日～9月6日 無料

県立博物館 (0734)23-2467

特別陳列「紀州のやきもの」9月20日まで

入館料 一般150円 大高70円 小中生50円

県立自然博物館 (0734)3-1777

開館5周年記念特別展「クワガタ虫」8月23日

まで 入館料 一般400円 高校生300円 小中生200円 幼児(3歳以上)100円

植物公園緑花センター (0736)62-4029

植物趣味教室「秋の原色押花の作り方」第1回  
花の押方まで 9月13日 定員40人(先着順)

紀南文化会館 (0739)25-3033

第3回和歌山県出身新人演奏会紀南大会

8月23日 午後2時 大ホール 無料

# お気軽にどうぞ

交通事故相談

巡回相談 ▶ 西牟婁県事務所 8月18日 ▶ 伊都郡事務所 8月26日 ▶ 日高県事務所 9月7日 受付 午後3時まで

県民相談

移動相談 ▶ 吉備町きび会館 8月27日 ▶ 高野口町名古屋会館 9月3日

北方領土  
返るまで 消すな 領土に世論の灯

死亡事故が激増!

スピードの出し過ぎや無理な追越し、過労運転等による死亡事故が多発しています。  
運転には十分気をつけて、安全で快適な夏を過ごしましょう。

**行政書士試験**

試験日	10月25日
会場	星林高校
願書配布	県庁地方課 各県
事務所総務課	提出書類 受験願書、履歴書、受験資格を有することを証明する書面、写真
願書受付	9月1日～19日正午まで

# 県民の友

# おしらせ

県庁 県教育庁は

## 農家高齢者手づくり作品の展示即売会

期間

8月21日～23日

場所 丸正百貨店4階催場

内容 手づくり作品の展示即

売、高齢者グループの活動紹介、わらぞうり、しめなわの作り方教室

県農林業まつり開催

農民賞表彰式 8月22日 県

農業者大会 8月22日 岩出

農林業啓発展示 8月22日～23日

農作物等展示即売 8月22日～23日

又はハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記し、「通話講座受講希望」と朱記し、配布先までくわしくは配布先へ

明記し、「通話講座受講希望」と朱記し、配布先までくわしくは配布先へ

## 参加しよう

自然愛護テクニクニー

大自然とのふれ愛を!

神山荘 前ヶラウンド(龍神

バス温泉前下車徒歩約30分)

龍神温泉郷一周コース

バス(約7.5km)

集合場所 龍神温泉郷一周コース

都合の良い日

県内の河川(紀の川、新宮川を除く)

申込 電話、郵送又は直接県環境調整課まで

木の国・友情計画'87

申込ハガキに住所、氏名、年齢、性別、自家用車又はバイクの青年との交流会に、参加してみませんか?

## 自然愛護テクニクニー

向陽高校

受験資格 駕照官B II 昭和35年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた男子(4年制大学の卒業者を除く)

4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和38年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和39年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和40年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和41年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和42年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和43年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和44年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和45年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和46年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和47年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和48年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和49年4月2日から昭和56年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和50年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和51年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和52年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和53年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和54年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和55年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和56年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和57年4月2日から昭和64年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和58年4月2日から昭和65年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和59年4月2日から昭和66年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和60年4月2日から昭和67年4月1日までに生まれた女子(4年制大学の卒業者を除く)

和61年4月2日から昭和68年4月1日までに生まれた女子(4年

## 届け平和へのメッセージ

7月11日と12日、県下で青年団による平和行動が行われました。

11日、各都市独自の平和行動を行い、12日は朝早くから橋本市と新宮市を自転車で出発。仲間を増やしながら夕方御坊市に集結、平和集会を行い、平和への祈りをこめたメッセージつきの風せんを空高く飛ばしました。

(御坊市)



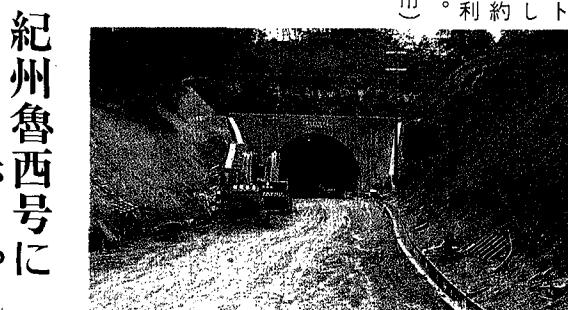
## おしゃれな校舎

太地中学校



太地町立太地中学校は、老朽化した校舎をベンショーン風に建て替え生徒の評判も上々。校舎正面の壁に清水昭八(武蔵野美術大教授)デザインのレリーフ、玄関ホールには和田直樹(日本ガラス工芸協会会員)制作のくじらモチーフにしたステンドグラス。2人とも同校の卒業生。大先輩の作品が後輩たちを見守っています。(太地町)

## わかやま



## 紀州魯西号に赤ちゃん誕生

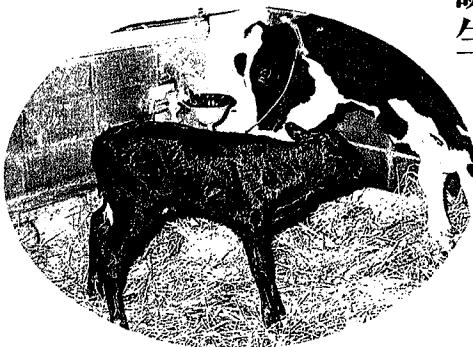
6月28日、県畜産試験場で、山

東省から贈られた魯西黄牛の、かわいい赤ちゃんが誕生しました。

母親牛(ホルスタイン)は初産のため介助が必要でしたが、本格的な陣痛からは約30分で36kgの立派な子牛を出産。今後2年間で、発育の早さ、肉質の良さ、飼育管理の容易さ等をどれだけ受け継いでいるか研究される予定です。

本県特産の肉用牛の新ブランド「紀州黄牛」をつくろうと、子牛の成長と今後の研究に、関係者の熱い期待が寄せられています。

(すさみ町)



話声がはずんでいます。  
活動的でやかみなギャルたち。  
今年一年の和歌山を売り込む観光キャラクター「ギャル」と、一足おさきに県下各地を取材してまわりました。

明るい人、しっかりした人、話し好きな人。それぞれ、すばらしい女性ばかり。  
観光和歌山のP・Rの先頭に立つて活躍してくれます。

## 紀の川地区広域農道建設急ピッチ

8月29日の開通式に向けて建設急ピッチの紀の川地区広域農道は、橋本市で国道371号と結ぶ小原田トンネル付近での最終工事に入っています。

この広域農道は、岩出町と橋本市を結ぶ延長約34キロメートルの道路で、今回一部開通するのは、かつらぎ町短野と橋本市御幸辻の区間と併せて約11・4キロメートル、既に一部開通している区間に併せて約28キロメートルが利用可能となります。

(橋本市)

「私は昨日も今日も日記しらべ」  
小梅日記の著者  
川合 小梅  
シリーズ 23  
江戸時代末期から明治時代にかけ、約50年にわたり日記を書き続けた女性がいました。この女性は川合小梅といい、小梅は武家の主婦という立場から当時の政治や社会の動き、日常のこまごまとした生活について多く書き残しています。

## ハウスみかん早くも収穫

みかんの里有田、車窓から見えるビニールハウス、その中では早くもハウスみかんが色づき、今が収穫のピークです。

このハウスみかん、早いものは6月から収穫が始まり9月中旬まで続きます。

今、有田では「日本一の有田みかんづくり運動」が展開されており、ハウスみかんもその一翼を担い脚光を浴びています。

(有田市)



江戸時代末期から明治時代にかけ、約50年にわたり日記を書き続けた女性がいました。この女性は川合小梅といい、小梅は武家の主婦という立場から当時の政治や社会の動き、日常のこまごまとした生活について多く書き残しています。

安政6年(一八五九年)のいわゆる安政の大獄の年には、「悪病流行、且何よりも恐るべきは異国よりおかし来り、内乱もおこらんとす。いともはかなくおそろしき時節とは成ぬ。長命もいものらず、只無事のみのる也。」と書き、当時の社会不安の大きかったことを伝えています。

また、日常生活については、「若忠に看求。あなた式にて一夕酒宴升五合求。代二夕」(嘉永2年、一八四九年)といった物の値段から「井辺鉄太郎先日より病氣のよし聞居れどもひまなく、今日休日ゆへ見廻りに行。カステイラ一箱七つ入手行。」(明治13年、一八八〇年)といった病気見舞い、あるいは婚礼、葬式までに及び、川合家の生活が手に取るようになります。

なお、川合小梅は文化元年(一八〇四年)に生まれ、明治22年(一八八九年)に没しています。

